

日本語 ESCP トランスレータ

リリース・ノート

AA-R4E4E-TE

2002 年 9 月

改訂/更新情報: 改訂ドキュメントです。

オペレーティング・システム: 日本語 OpenVMS Alpha V6.0 以降
日本語 OpenVMS VAX V5.5-2 以降

ソフトウェア・バージョン: 日本語 ESCP トランスレータ V1.1

コンパックコンピュータ株式会社

2002 年 9 月

本書の著作権はコンパックコンピュータ株式会社が保有しており、本書中の解説および図、表はコンパックの文書による許可なしに、その全体または一部を、いかなる場合にも再版あるいは複製することを禁じます。

また、本書に記載されている事項は、予告なく変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。万一、本書の記述に誤りがあった場合でも、コンパックは一切その責任を負いかねます。

本書で解説するソフトウェア (対象ソフトウェア) は、所定のライセンス契約が締結された場合に限り、その使用あるいは複製が許可されます。

© 2002 Compaq Computer K.K.

本書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書は、日本語 VAX DOCUMENT V 2.1を用いて作成しています。

目次

まえがき	v
1 日本語 ESCP トランスレータ V1.1 の情報	
1.1 日本語 ESCP トランスレータ V1.1 の変更点	1-1
1.2 日本語 ESCP トランスレータ V1.1 で解決された問題	1-1
2 トランスレータの既知の問題点と制限事項	
2.1 逆改行	2-1
2.2 フォントデザイン	2-1
2.3 内部フォント	2-2
2.4 アンダーライン	2-2
2.5 二重アンダーライン	2-2
2.6 反転文字	2-2
2.7 漢字罫線	2-3
2.8 行間罫線	2-3
2.9 プリローディング/オンデマンドローディング	2-3
2.10 行属性	2-3
2.11 縦倍文字	2-3
2.12 8.18 CPI 以下での印字	2-4
2.13 その他	2-4

- 3 TELNET プリント・シンビオントの既知の問題点と制限事項
- 4 ESC/P プリンタ
- 5 ESC/P プリンタの既知の問題点と制限事項

まえがき

本書の目的

本書は、日本語 ESCP トランスレータ V1.1 の制限事項について解説するものです。

本書の対象読者

本書は日本語 ESCP トランスレータの一般ユーザ、およびシステム管理者を対象に書かれています。

表記法

OpenVMS AXP オペレーティング・システムは OpenVMS Alpha に名称が変更されました。

注意

本書では、

OpenVMS VAX	日本語 OpenVMS VAX オペレーティング・システム
OpenVMS Alpha	日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システム
OpenVMS	上記の両方
ESC/P プリンタ	ESC/P J84 に準拠したプリンタ

を表します。

本書では以下の表記法を使用します。

表記法	意味
英大文字	OpenVMS コマンドの名前、ファイル、およびユーティリティは大文字で示されます。しかし、OpenVMS コマンドは大文字で入力しても、小文字で入力してもかまいません。
斜体	斜体は、例の中で適切な単語または値に置き換えなければならない要素を示します。
[]	大括弧は構文の中で省略可能な項目を囲みます。
太字	コマンドの入力例などで太字で示された文字は、ユーザが入力する文字です。 例： * Are you ready? Yes
<code>Ctrl/X</code>	例の中で、Ctrl キーを押した状態で、同時に別のキーを押さなければならないことを示します。たとえば、 <code>Ctrl/Z</code> と示します。
<code>Return</code>	このシンボルは、 <code>Return</code> キーを押さなければならないことを示します。

日本語 ESCP トランスレータ V1.1 の情報

1.1 日本語 ESCP トランスレータ V1.1 の変更点

日本語 ESCP トランスレータ V1.1 では、次のような変更が行われています。

- 新しいプリンタのサポート

次のプリンタが新たにサポートされました。

沖データ MICROLINE 8720SE

プリンタごとの制限事項は第 5 章を参照してください。

- raw TCP 接続のサポート

raw TCP による接続がサポートされました。raw TCP をサポートするプリント・サーバを用いてプリンタをネットワークに接続する構成が利用可能です。

1.2 日本語 ESCP トランスレータ V1.1 で解決された問題

日本語 ESCP トランスレータ V1.1 では次の問題が解決されています。

- ACCVIO エラーのため TELNET シンビオント・キューが起動できない

START/QUEUE コマンドで TELNET シンビオントを使用したキューを起動しようとしても、環境によって、ACCVIO エラーのためにキューが起動できない場合があります。

- EXQUOTA エラーのため TELNET シンビオント・キューが止まってしまう

TELNET シンビオントを用いて印刷していると、やがて EXQUOTA のエラーでキューが止まってしまう場合があります。

トランスレータの既知の問題点と制限事項

2.1 逆改行

ESC/P プリンタでは逆改行動作を行うコントロールコードを持っていません。このため以下の制御文字は無視されます。

- | | |
|-------|-----------------|
| • CUU | Cursor up |
| • PLU | Partial line up |
| • RI | Reverse index |

2.2 フォントデザイン

日本語 ESCP トランスレータでサポートしている文字セットのうち以下の文字セットは ESC/P プリンタが持っていないため、日本語 ESCP トランスレータで用意されたフォント (以下内部フォント) を使用しています。このため ESC/P プリンタが持っているフォントと内部フォントのデザインが同一であることは保証されません。

- JIS カタカナ (12.86 CPI 以上のとき)
- DEC 特殊文字 (VT100 Line Drawing)
- DEC テクニカル文字
- ユーザ選択補助文字
- DEC 補助文字
- ISO Latin-1 補助文字

また、ESC/P プリンタの英数カナ 15 CPI 文字セットは漢字に比べて文字の高さが低いデザインになっています (ESC/P プリンタの各機種に依存します)。この 15 CPI 文字セットは日本語 ESCP トランスレータが 12.86 CPI 以上の文字ピッチの場合に使用されます。

2.3 内部フォント

内部フォントには以下の制限があります。

- 文字属性 (濃印字, 右斜体, 反転) は設定できません。
- 縦倍文字は設定できません。
- ビットイメージとして印字されるため、データ量が多くなり、ESC/P プリンタの使用条件によっては印字に時間がかかることがあります。

2.4 アンダーライン

アンダーラインには以下の制限があります。

- アンダーラインは文字の最下位置に引かれるため、文字とアンダーラインが重なることがあります。
- ビットイメージとして印字されるため、データ量が多くなり、ESC/P プリンタの使用条件によっては印字に時間がかかることがあります。

2.5 二重アンダーライン

二重アンダーラインは印刷できません。アンダーラインとして印刷されます。

2.6 反転文字

ESC/P プリンタでは反転文字を印字するためのコントロールコードを持っていません。日本語 ESCP トランスレータでは代用として反転文字を袋文字として印字します。

2.7 漢字罫線

漢字罫線は接続されません。

2.8 行間罫線

行間罫線はサポートされません。

2.9 プリローディング/オンデマンドローディング

- プリローディングのフォント文字の拡張はされません。
- 1行に印字できるプリローディング/オンデマンドローディング文字は93文字までです。94文字以上を印字しようとする文字化けを起こすことがあります。

2.10 行属性

- DECDHLT (縦横倍角指定の上半分) では文字は印字されないで、文字分のスペースが印字されます。
- DECDHLB (縦横倍角指定の下半分) では文字の全体が印字されます。
- DECDHLT と DECDHLB を組み合わせて印字した場合、LA88 と印字結果が異なります。行送りが、通常よりも多く行われます。

2.11 縦倍文字

1行中にGSMやDECDHLなどを使って通常の文字と縦倍の文字を混在して印字した場合、LA88と印字結果が異なる場合があります。また、行送りが通常よりも多く行われることがあります。

2.12 8.18 CPI 以下での印字

LA88 では 8.18 CPI 以下の文字ピッチでは倍幅の文字を使用して印字されますが、日本語 ESCP トランスレータではすべて通常の文字で印字されます。

2.13 その他

以下の制御文字，制御命令はサポートされません。無視されます。

BEL	Bell
CUU	Cursor up
DA(1)	Primary Device attributes
DA(2)	Secondary device attributes
DECDEN	Select printing density
DECDRLBR	Draw a ruled line between in pattern
DECNVR	NVR save/restore
DECRQUPSS	Request UPSS
DECTST	Test
DSR	Device status report
PLU	Partial line up
RI	Reverse index
S7C1T	Select 7-bit C1 transmission
S8C1T	Select 8-bit C1 transmission
SGR	Select graphic rendition
Faint	
XOFF (transmit only)	
XON (transmit only)	

TELNET プリント・シンビオントの既知の問題点 と制限事項

- 反応していないプリンタに ESCJ\$TELNETSYM がジョブのリンクを確立しようとしているときに DELETE/ENTRY コマンドを入力した場合、プリンタ・キューは“ハング”します。キューをリセットするには、以下を入力します。

§ STOP /QUEUE /RESET

ESC/P プリンタ

ESC/P プリンタは ESC/P J84 に準拠していなければなりません。以下のプリンタをサポートします。

- シリアルプリンタ

EPSON VP-1800

以下のプリンタは日本語トランスレータの動作テストにおいて検証済みです。

- シリアルプリンタ

EPSON VP-4100

EPSON VP-5100 †

EPSON VP-6000†

Fujitsu Printpartner 2400†

OKI MICROLINE 8350SE†

OKI MICROLINE 8370SE†

OKI MICROLINE 8580SE†

OKI MICROLINE 8720SE†

- ラインプリンタ

Fujitsu M3086V†

日立工機 KD45PC†

日立工機 KD20PC†

日立工機 KD50PC†

日立工機 KD28PC†

- レーザプリンタ

EPSON LP-8200†

† 第 5 章, ESC/P プリンタの既知の問題点と制限事項を参照してください。

ESC/P プリンタ

Canon LBP-450†

Canon LBP-740†

ESC/P プリンタの既知の問題点と制限事項

以下は動作検証された各プリンタに依存した問題点と制限事項です。

- EPSON VP-5100
 - GSM や DECDHL などを使って縦倍の文字を印字する場合、1 行中に漢字と英数カナが混在する行は右下がりの階段状に印字されます。
- EPSON LP-8200
 - 縦倍文字を印字する場合、アンダーライン、二重アンダーラインは取り消しラインのように印字されます。
 - 12LPI、用紙長 11 インチ (132 行) の場合、132 行目は次のページに印刷されます。133 行目以降は更に次のページから印字されます。
- Fujitsu Printpartner 2400
 - 縦倍文字を印字する場合、英数カナと漢字のベースラインが異なるため、正常な印字結果になりません。
 - 縦倍文字を印字する場合、その行に漢字が含まれ、かつ行末が英数カナで終わるとき、24/180 インチの改行量不足となります。
 - 縦倍文字を印字する場合、漢字に対してアンダーライン、二重アンダーラインは取り消しラインのように印字されます。
- Fujitsu M3086V
 - M3086V では袋文字をサポートしていないため、反転文字 (袋文字) の属性は設定されません。
 - 英数カナのみの縦倍文字を印字した場合、文字の下部が印字されないことがあります。

- OKI MICROLINE 8350SE
 - 縦倍文字を印字する場合、英数カナと漢字のベースラインが異なるため、正常な印字結果になりません。
 - 縦倍文字を印字する場合、その行に漢字が含まれ、かつ行末が英数カナで終わるとき、24/180 インチの改行量不足となります。
 - 縦倍文字を印字する場合、漢字に対してアンダーライン、二重アンダーラインは取り消しラインのように印字されます。
- OKI MICROLINE 8370SE
 - 縦倍文字を印字する場合、英数カナと漢字のベースラインが異なるため、正常な印字結果になりません。
 - 縦倍文字を印字する場合、その行に漢字が含まれ、かつ行末が英数カナで終わるとき、24/180 インチの改行量不足となります。
 - 縦倍文字を印字する場合、漢字に対してアンダーライン、二重アンダーラインは取り消しラインのように印字されます。
- OKI MICROLINE 8580SE
 - 縦倍文字を印字する場合、英数カナと漢字のベースラインが異なるため、正常な印字結果になりません。
 - 縦倍文字を印字する場合、その行に漢字が含まれ、かつ行末が英数カナで終わるとき、24/180 インチの改行量不足となります。
 - 縦倍文字を印字する場合、漢字に対してアンダーライン、二重アンダーラインは取り消しラインのように印字されます。
- OKI MICROLINE 8720SE
 - 縦倍文字を印字する場合、英数カナと漢字のベースラインが異なるため、正常な印字結果になりません。
 - 縦倍文字を印字する場合、その行に漢字が含まれ、かつ行末が英数カナで終わるとき、24/180 インチの改行量不足となります。
 - 縦倍文字を印字する場合、漢字に対してアンダーライン、二重アンダーラインは取り消しラインのように印字されます。

- EPSON VP-6000
 - 縦倍文字を印字する場合、英数カナと漢字のベースラインが異なるため、正常な印字結果になりません。
 - 縦倍文字を印字する場合、英数カナと漢字のベースラインが異なるため、これらにつけたアンダーラインが接続されません。
 - 縦倍文字を印字する場合、その行に漢字が含まれ、かつ行末が英数カナで終わる時、24/180 インチの改行量不足となります。
- Canon LBP-450
 - 縦倍文字を印字する場合、英数カナと漢字のベースラインが異なるため、正常な印字結果になりません。
 - 縦倍文字を印字する場合、その行に漢字が含まれ、かつ行末が英数カナで終わる時、24/180 インチの改行量不足となります。
 - 縦倍文字を印字する場合、アンダーライン、二重アンダーラインは取消しラインのように印字されます。
- Canon LBP-740
 - 縦倍文字を印字する場合、英数カナと漢字のベースラインが異なるため、正常な印字結果になりません。
 - 縦倍文字を印字する場合、その行に漢字が含まれ、かつ行末が英数カナで終わる時、24/180 インチの改行量不足となります。
 - 縦倍文字を印字する場合、アンダーライン、二重アンダーラインは取消しラインのように印字されます。
- 日立工機 KD45PC
 - 一行に英数カナと漢字が混在した縦倍文字を、アンダーラインまたは二重アンダーラインを指定して印字する場合、英数カナのベースラインが正常位置より上になり正しく印字されません。
 - 縦倍文字を印字する場合、英数カナと漢字のベースラインが異なるため、これらにつけたアンダーラインが接続されません。
 - 文字への斜体の指定は無視されます。
 - 文字への反転の指定は無視されます。

ESC/P プリンタの既知の問題点と制限事項

- 日立工機 KD20PC
 - 一行に英数カナと漢字が混在した縦倍文字を、アンダーラインまたは二重アンダーラインを指定して印字する場合、英数カナのベースラインが正常位置より上になり正しく印字されません。
 - 縦倍文字を印字する場合、英数カナと漢字のベースラインが異なるため、これらにつけたアンダーラインが接続されません。
 - 文字への斜体の指定は無視されます。
 - 文字への反転の指定は無視されます。
- 日立工機 KD50PC
 - 一行に英数カナと漢字が混在した縦倍文字を印字する場合、アンダーラインまたは二重アンダーラインは取り消しラインのように印字されます。
- 日立工機 KD28PC
 - 一行に英数カナと漢字が混在した縦倍文字を印字する場合、アンダーラインまたは二重アンダーラインは取り消しラインのように印字されます。

日本語 ESCP トランスレータ
リリース・ノート

2002 年 9 月 発行

コンパックコンピュータ株式会社

〒 140-8641 東京都品川区東品川 2-2-24 天王洲セントラルタワー

電話 (03)5463-6600 (大代表)

AA-R4E4E-TE

